

広島市の伊達憲司さん

全国で2人目 遺品整理士

依頼主らの気持ち大切に

広島市安佐北区でリサイクルショップを営む伊達憲司さん(60)が全国で2人目となる「遺品整理士」の資格を取得した。孤立死の増加で、亡くなった人の遺品を整理する「遺品整理業」の需要が年々高まっており、「死者の思いをつなぐ方法はないか」と考えながら日々、数々の遺品と向き合っている。



引き受けた遺品の貝殻を見つめる伊達憲司さん—広島市安佐北区

伊達さんは平成10年にリサイクルショップ「やりくりじょうず」を開業。16年からは出張買い取りを始め、遺品整理の依頼が入り始めた。今年9月に「遺品整理士認定協会」(北海道千歳市)が設立されたことから、同協会の通信講座を受講し、試験に合格した。遺品整理には「気持ち」が大切と語る伊達さん。通信講座で学ぶ中で、「採算で考えると見えないことも『気持ち』で考えると見え

ることがいっぱいあった」という。先日、90代の女性の遺品整理を引き受けた。女性の部屋には世界中で収集した貝殻がたぐささんあった。「ゴミとして捨てることもできるが、その人の生きた証しなので貝殻が好きならに渡し、死者の思いを伝えることも大切」と、インターネットオークションに出品した。

頼主の気持ちをくんで仕事をすることが大事。若い社員にも伝えていきたい」と話した。

遺品整理をめくり、高額な費用請求や不法投棄などモラルに反する業者が増えたため、健全化を目指す今年9月、遺品整理士認定協会が設立された。協会の養成講座(通信講座)を受講し、試験に合格すると遺品整理士の資格を取得できる。受講期間は約2カ月間、受講料は2万5千円。現在、約200人が受講している。問い合わせは同協会(☎0123・42・0528)。

産経新聞

平成23年(2011) 日刊24793号

12|17 [土]



産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2011
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57
☎ 大阪(06)6633-1221(大代表)